資料3

共同検針インターフェース会議の設置について

共同検針インターフェース会議

2020年12月15日

1　共同検針インターフェース会議の設置について

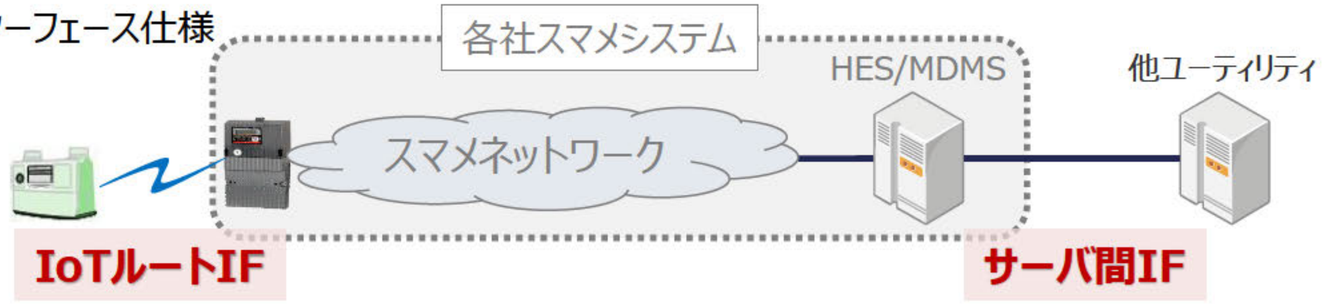
■ 共同検針等でスマートメーター通信システムを利用する場合の運用ルールおよび共通インターフェース仕様を策定することを目的に、有識者や様々な団体、メーカー等の企業にもご参加いただいて「共同検針インターフェース会議」を設置した。

■ 活動方針として、ガス・水道事業者さまのニーズを基に、スマートメーター通信システムを社会基盤として活用するための技術仕様を策定する。

■ 11月27日に第1回の会議、12月第1週より分科会を開催し、検討を進めている。

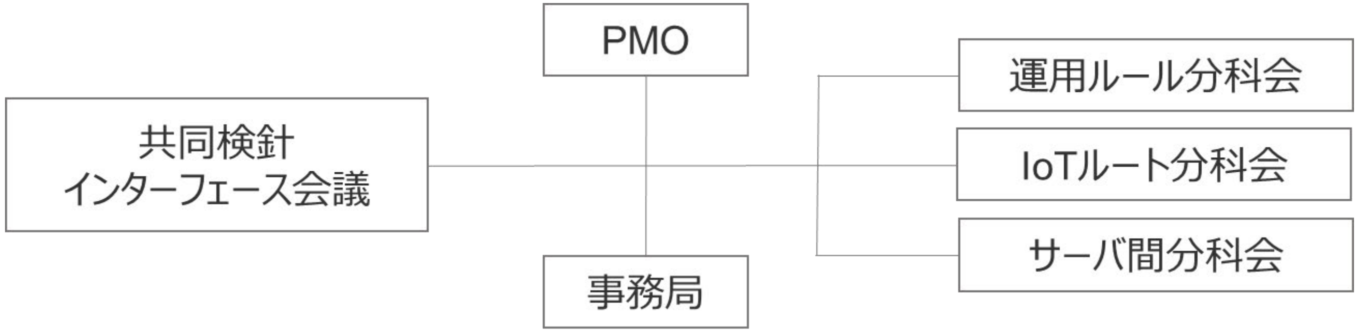
■ 共同検針インターフェース会議　設立目的

- 共同検針等でSM通信システムを利用する場合の運用ルールおよびインターフェース仕様を策定する
  1. 運用ルール
  2. インターフェース仕様



2　共同検討インターフェース会議の体制

■ 検討体制



■ 有識者

早稲田大学　スマート社会技術融合研究機構　研究院　教授　石井英雄
京都大学院　情報学研究科　通信情報システム　通信情報システム専攻　教授　原田博司

■ 参加団体・企業（団体名50音順・敬称略）　[2020年12月10日現在]

アズビル金門（株）	四国電力送配電（株）	電力中央研究所	富士通（株）
ｴﾇ・ﾃｨ・ﾃｨ　ﾃﾚｺﾝ（株）	全国LPガス協会	東京ガス（株）	富士電機（株）
沖縄電力（株）	第一環境（株）	東京電力ﾊﾟﾜｰｸﾞﾘｯﾄﾞ㈱	北海道電力ネットワーク（株）
神奈川県企業庁	中国電力ﾈｯﾄﾜｰｸ（株）	東北電力ﾈｯﾄﾜｰｸ（株）	北陸電力送配電（株）
関西電力送配電（株）	中部電力ﾊﾟﾜｰｸﾞﾘｯﾄﾞ（株）	日本ガス協会	三菱電機（株）
九州電力送配電（株）	テレメータリング推進協議会	パナソニック（株）	
KDDI（株）	電気事業連合会	（株）日立製作所	

3　共同検針IF会議の成果物（イメージ）

■ 運用ルール分科会

項目	論点	成果物（イメージ）
共同検針等のSMネットワーク利用	利用条件、利用方法	運用ルール制定
IoTルートのセキュリティ対策	セキュリティ対策	セキュリティガイドラインの見直し
成果物の帰属と今後の運用	仕様書の整備、公開、認証	帰属先の決定、認証方法　等

■ IoTルート分科会

項目	論点	成果物（イメージ）
IoTルートの共通インターフェース	提案内容の選択	インターフェース仕様書

■ サーバー間分科会

項目	論点	成果物（イメージ）
提供するデータフォーマット	提供方法	データフォーマット仕様書
制御信号等の双方向通信	提案内容の選択	データフォーマット仕様書

4　スケジュール

■ 下表のスケジュールで検討を進め、インターフェース仕様書等を完成させる。

	2020年		2021年					
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
次世代SM制度検討会	★	★	★	★	※１月以降の日程は未定			
SM仕様検討WG	★		意見	意見				
			報告	報告				
共同検針IF会議		方向性検討	方向性・進捗確認					
運用ルール分科会		方針検討	詳細検討			運用ルール作成		
IoTルート分科会		方式提案	詳細仕様提案			仕様書作成		
サーバ間分科会		方式提案	詳細仕様提案			仕様書作成		

（12月末：方向性決定）

■ 2021年1月の「次世代スマートメーター制度検討会」において、共同検針インターフェース会議での検討の方向性についてご報告する予定。

5　分科会の検討内容（12月～3月）

時期 （12月～3月）		主な議題
12月	第1週	キックオフ（メンバー紹介、座長決定、課題説明）
	第2週	ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ事例の紹介（無線インターフェース【U-Bus Air】、既存サーバ間ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽ） セキュリティ要件整理、その他課題の検討 事業者ニーズ調査の項目抽出
	第3週	既存IFを共通IFとして採用した場合の課題整理、検討 セキュリティ要件整理、その他課題の検討 事業者ニーズ調査の項目決定
	第4週	共通IFの技術仕様に反映が必要な運用面の要件検討のまとめ 共通IFの採用技術の方向性の議論・決定
1月	—	事業者ニーズ調査の結果を整理し、技術仕様に反映が必要な要件検討のまとめ 成果物（仕様書等）の帰属先等の取扱いについての検討
2月～3月	—	共通IFの技術仕様への業務要件反映（業務要件の反映の詳細検討） セキュリティアセスメント検討